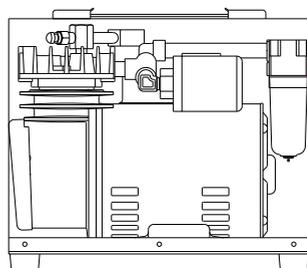
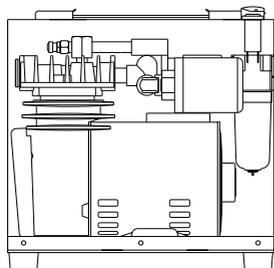




ハンディシリーズ

取扱説明書



この度は、お買い上げ下さいまして誠に有難う御座います。

本製品ご使用前に必ずお読みください。

本コンプレッサーは、低騒音タイプのオイルレスコンプレッサーですので給油の必要がなく、メンテナンスが非常に簡単です。又、駆動部をカバーする事によって安全性が計られています。

製造元 **株式会社 八重崎空圧**



警告

- 圧縮空気は高圧の為、目・鼻・口・耳等にむけて、やたらに噴霧しないこと
(人体に多大の影響をきたす恐れがあります)
- お手入れの際は必ず電源プラグはコンセントから抜くこと。又ぬれた手で抜き差しをしないこと。(感電やけがをすることがあります)
- 水につけたり、水をかけたりしないこと
(ショート、感電の恐れがあります)
- 修理技術者以外の人には絶対に分解したり修理、改造はしないこと。
(異常作動してけがをすることがあります)



注意

- 電源プラグを抜くときは電源コードを持たずに必ず先端のプラグを持って引き抜くこと(感電やショートして発火することがあります)
- 交流 100V以外では使用しないこと。(日本国内専用です)
- 電源コードを傷つけたり、破損したり、加工したりしないこと。
(火災・感電の恐れがあります)
- 電源コードや電源プラグが傷んだり、コンセントの差し込みがゆるい時は使用しないこと。(感電・ショート・発火の原因になります)
- 移動する際は絶対に落とさないこと。
(足の上に落とすとけがをします)
- 高い所に設置する際は落下しないように固定すること。
(落下するとけがをします)
- コンプレッサーのヘッドカバーやモーターフレームは高温になるので手を触れないこと(けがをすることがあります)
- 使用する際は必ずアース線を接続すること(感電の恐れがあります)
- ケースカバーの中や可動部へ指や棒を入れぬこと。特に小さなお子様には注意して下さい。(けがをすることがあります)
- タンクドレンコックを開ける際はドレン液を受ける入れ物をおくこと
(部屋を汚す恐れがあります)
- 空気導入ホースを持ってコンプレッサーを動かさぬこと
(けがをすることがあります)

運転について

● 運転前の点検・確認

1. 設置場所は湿気・ゴミ・ホコリの少ない風通しのよい処にしてください。
2. コンプレッサーの上には物を置かないで下さい。
3. コンプレッサーの付近には火気や揮発性可燃物(ガソリン・シンナー等)を置かないで下さい。
4. 雨天での屋外使用はしないで下さい。

● 運転中の点検・確認

1. 電源コードは正しく挿入して下さい。但し電球用ソケット及び分岐タップよりの蛸足配線はしないで下さい。
2. 異常音が出ていませんか？又はエア一洩れがしていませんか？よく確かめて下さい。
3. 異常があった場合は、電源コードを抜いて原因を調べて下さい。
4. 電圧降下、異常過熱により過負荷運転になりますとモーター焼損保護装置(PC3-20のみ)が作動してモーターが止まりますので電源を抜いて下さい。モーターフレームの温度が40℃位に降下したら(約30分位)、リセットボタン(赤色)を押して(カチン言うまで)電源コードを挿入して起動して下さい。但しPC1-20はモーターに内蔵されていない為「ON・OFFスイッチ付サーキットプロテクター」を取り付けています。作動した場合原因を取り除いたのちスイッチをONにしてください。

● 運転後の点検・確認

1. 作業終了後はタンク内の水分をドレンコックより放出して、電源コードを抜いて下さい。

コンプレッサーの保全

1. 空気取入口部分にホコリやゴミがつまりますと空気の吸込みが悪くなり圧力のあがりが遅くなりますので、月に1度位ホコリを落として下さい。あまり汚れた場合は新品と交換して下さい。

2. 圧力があがらなかつたり、時間がかかる場合には、テフロンバルブ・ピストンリング等を新品と交換が必要です。
3. モーター焼損保護装置が連続して作動する場合(リセットボタンをなんども続けて押す様な状態)は、コンプレッサー運転部分になんらかの故障がありますので、至急に分解点検の必要があります。

故障の原因とその処置

	故障の種類	原因	処置
起動する	最高圧力まであがらない 又は時間がかかる	テフロンバルブの破損、又は作動不良	販売店に相談
		シール不良	
		ネジ部又は配管部のゆるみ	締めなおす
		ピストンリングの摩耗、作動不良	販売店に相談
	最高使用圧力以上にあがる	圧力スイッチ及び安全弁の作動圧力の不良	
	異常音がする	各部分のネジのゆるみ	締めなおす
		ピストン上部がバルブ板にあたる	販売店に相談
		モーター及びロットリングのベアリング部分のゆるみ	
異常に電動機が過熱する	電圧の低下	電気工事店に相談	
	コンプレッサーの異常	販売店に相談	
起動しない	音がしない	モーター焼損装置が作動	リセットボタンを押す
		電源コードの断線又は接続不良	配線部点検
		電動機の故障	販売店に相談
	電動機がうなる	電圧低下	電気工事店に相談
		コンプレッサーの異常	販売店に相談
		電動機の異常	

ON・OFF スイッチ付サーキットプロテクター(PC1-20)

- 過電流保護機能+電源スイッチ機能付き！
安全対策として、サーキットプロテクターを搭載しています。

何らかの原因によりコンプレッサーが拘束された場合、サーキットプロテクターが自動で OFF になります。

※原因を取り除いたのちスイッチを ON にして下さい。

- 開閉寿命:機械的寿命50, 000回／電氣的寿命30, 000回
- 衝撃耐性:100G(無通電状態)

PC3-20は、モーターにサーマルが内蔵されています。

- モーター内臓のサーマルが作動した場合、電源を切り30分ほど休ませたのち(冷却)、リセットボタンを押して下さい。

フィルタ

● ドレンの排出

1. ドレンの排出は、ドレンコックを押し上げて下さい。
2. ドレンコックの開閉は手動で行ってください。工具などを使用しますと、破損の原因になります。
3. ドレンの水位がバッフルに達する前に、ケース内のドレンを排出して下さい。出口側にドレンが流入すると、機器の作動不良の原因となります。

ダスター

- 引金を引くとエアが先端ノズルより出ます。
- 決して、人体に向けて吹付けしないで下さい。
- 空気入口をダスター上部に組み替えるには、六角ニップル1／8とプラグ1／8(-)ドライバーとスパナ等で取り外して下さい。組替時、リングの破損の無いように取付後、再度工具を用いてしっかりと締付けて下さい。

コイリングホース

- 無理に引っ張らないで下さい
- チューブのつぶれ、破裂、抜けの原因となる可能性があります。

部品名称一覧

①ヘッドカバー	②空気取入口	③吸込押え板
④吸込フィルター	⑤安全弁	⑥ニップル
⑦テフロンバルブ	⑧バルブ板	⑨シリンダーパッキン
⑩シリンダーライナー	⑪ケース	⑫ピストンリング押え
⑬ピストンリング	⑭ピストン	⑮ロット
⑯ロットナット	⑰ロットリング	⑱ロットベアリング
⑲エキセン	⑳冷却ファン	㉑ケースカバー
㉒モーター	㉓モーター用リセットボタン	㉔レール
㉕電源コード	㉖アース	㉗逆止弁本体
㉘逆止弁ガイド	㉙逆止弁バルブ	㉚逆止弁スプリング
㉛逆止弁パッキン	㉜残圧排気弁	㉝圧カスイッチ
㉞フィルタ(耐熱仕様)	㉟19 六角チーズ	㊱ドレンコック
㊲空気取出口	㊳足ゴム	㊴エキセンバランス
㊵電源スイッチ		

仕様

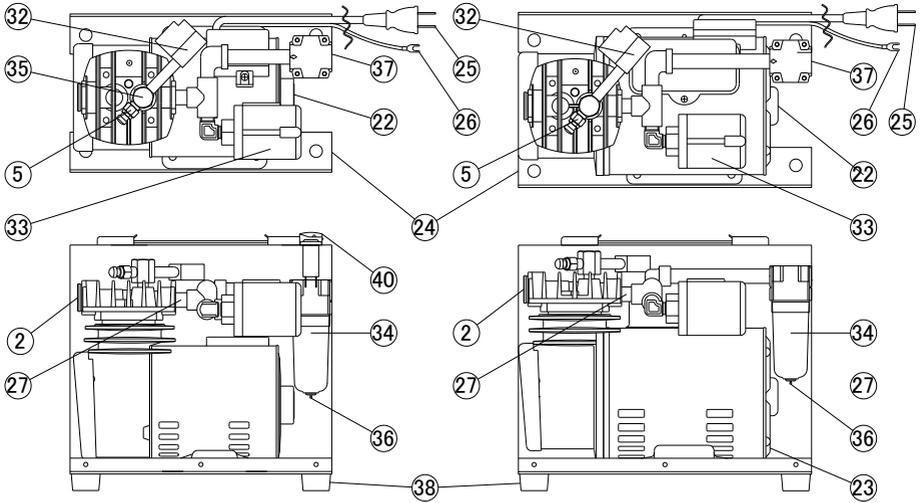
型式	電動機			シリンダー 径×行程 φ×mm	空気吐出力 (L)	圧カスイッチ 作動圧力 (MPa)	空気取出口 口径	騒音レベル Aスケール 1.5m(dB)	重量 (kg)
	定格電圧 (V)	定格出力 (W)	定格周波数 (Hz)						
PC1-20	100	65	50/60	46×8	5/5.9	0.3~0.5	Rø1/4	54	8
PC3-20		200		46×10	9.5/11			0.5~0.65	54

※空気吐出力は、最高圧力時の空気量を吸込み状態(大気圧)に換算した値です。

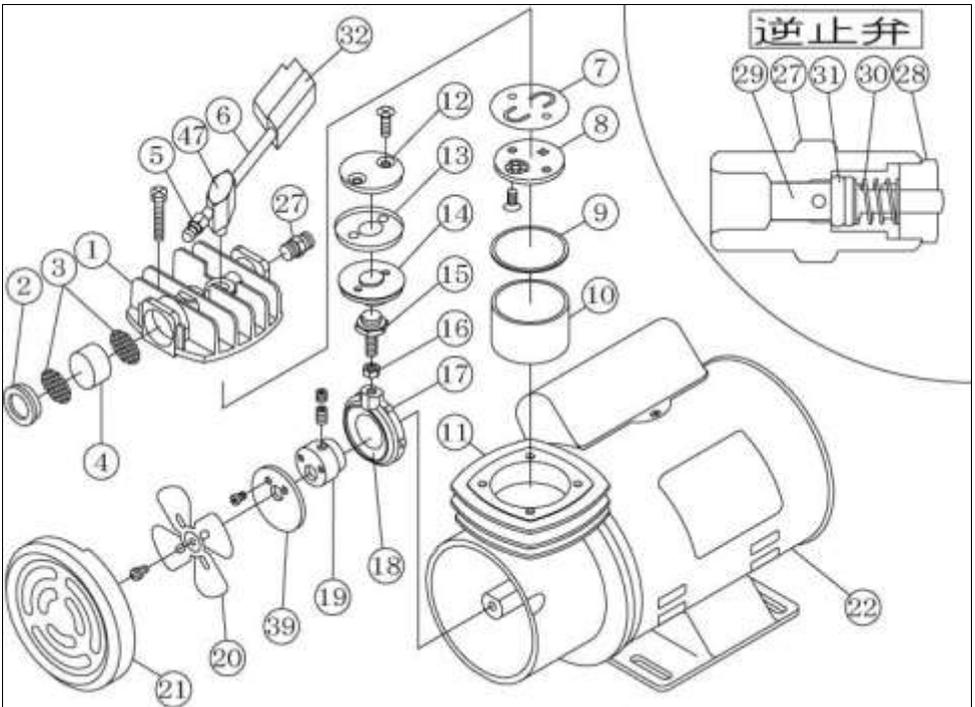
全体図

PC1-20

PC3-20



圧縮機分解図



保証

納入日から、一年間を保証期間と致します。

ただし、次の場合は保証から除外されます。

- 経時変化あるいは使用消耗により発生する不具合（塗装・メッキ等の自然退色、消耗部品の劣化など）
- 本製品の品質、機能上影響のない軽微な感覚的現象
- 地震・台風・水害・落雷などの天災または事故、火災など
- お客様による改造など
- 純正部品以外の使用
- 保守点検上の不備または間違い
- 弊社以外の整備
- この製品のご使用中に発生した故障に起因する種々の出費、その他二次的損害の補償

※本装置の補償は、日本国内で使用する場合に限ります。

修理

- 本製品の修理は販売店または製造元へご依頼ください。
- 修理品の送付の際は異常内容を詳しく記載してください。

株式会社 八重崎空圧

〒131-0043 東京都墨田区立花5丁目8番8号

TEL:03-3610-1652(代) FAX:03-3610-1653

●URL : http://www.yaezakiku_atu.co.jp/ ●E-mail : hohmi@yaezakiku_atu.co.jp